

7月5日（水）水やり

1年生が^{どうとく}道徳で、^{そだ}育てているアサガオが^か枯れそうになってしまった主人公の^{しゅじんこう}気持ち^{きも}を^{かんが}考えていました。主人公の子は、アサガオに^{なんど}何度も「^{あやま}ごめんね」と謝ります。



^{じゅぎょう}授業では、「^{ごめんね}ごめんね」の^{つづ}続きにどんな^{ことば}言葉^いを言ったかを^{かんが}考えました。1年生の子は、次のような^{ことば}言葉^{はっぴょう}を発表してくれました。

「もう、^{みず}水やりを^{わす}忘れないよ」

「大丈夫、^{だいじょうぶ}明日からちゃんと^{みず}水を^ああげるから、^さ咲くよ」

「^{みず}水やり^ししっかりやるから、^さ咲いてね」

「^{こんど}今度から、ちゃんと^{みず}水をあげるよ」

「これから^{みず}水やりを^{わす}忘れないから、^{だいじょうぶ}大丈夫だよ」 など

^{みな}皆さんだったら、どんな^{こえ}声をかけますか。

ペットだったら、^{はん}ご飯をあげないと「^{なか}お腹すいたよ」と

^な鳴いて^{うった}訴えてくるでしょうね。アサガオも、もしかしたら「^{みず}水がほしいよ」「^{おなか}お腹がすいたよ」と、^{わたし}私たちに^{うった}訴えているのかもしれませんが。

村越 新